

【ホームページへの掲載用の研究概要】

研究課題名 「子宮頸部上皮内腫瘍に関する生物学的指標に関する研究」

本研究は、ちば県民保健予防財団倫理審査委員会の承認を得て、理事長が許可をした研究であり、杏林大学を主任施設とする多施設共同研究です。

本研究は、当財団の婦人科専門外来を受診され、子宮頸部組織診検査および細胞診検査を受検された方のうち、本研究への協力にご同意をいただいた方を対象に、次のような研究を平成30年9月30日まで行う予定です。

子宮頸部上皮内腫瘍（CIN 異形成・扁平上皮がん）の発生には HPV が関与することが広く一般に知られていますが、上皮内腫瘍が進展するか否かの指標は明らかではありません。そのため HPV の存在だけではなく、そのウイルス量、physical status、塩基配列、CIN に関連する癌抑制遺伝子、癌遺伝子の発現を調べ、細胞診および組織診検査結果、コルポスコピー診の結果を踏まえ、CIN 進展の指標を明らかにすることを目的として研究を実施する。また 13 種類のハイリスク型 Human papillomavirus (HPV) (HR13) 陰性の CIN 症例を用いて HR を疑う HPV

(26, 30, 34, 66, 67, 69, 70, 73, 82, 85 型等) を検出し、ハイリスク型 HPV をあらためて再考することを目的として研究を実施する。

この研究により、医学の発展に役立つ新たな研究成果があった場合には、個人が誰であるか判らないようにした上で、研究成果が学会発表や学術誌、データベース上などで公に発表されることがあります。

本研究についてのお問い合わせ等につきましては、下記までご連絡ください。

研究責任者

公益財団法人ちば県民保健予防財団総合健診センター顧問 河西 十九三